

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年4月30日

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	C
横断的な課題	雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保				
地域重点政策	雪国の暮らしを支えるライフライン、地域医療など生活基盤の維持と確保				北信地域振興局
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	企画振興課(北信保健福祉事務所)
事業名	北信州の食を楽しむ事業 (ひくシオたすベジ北信州キャンペーン事業)			電話	0269-23-0201
				E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	北信地域の健康課題を解決するために、「減塩」と「地元野菜と果物の摂取」に取り組むキャンペーンを管内全体で実施できるようにし、北信地域の健康づくりと地産地消、地元農産物の普及を促進する。			
	現状と課題	【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】 ・長野県は、食塩摂取量が全国で男性3位、女性1位である。北信地域は脳卒中の年齢調整死亡率が県平均と比べて高く、減塩の普及啓発が必要である。また、北信地域はきのこや果樹を中心に農業が盛んであり、関係団体と連携した地元食材を活用した野菜摂取量の増加等を普及することが重要である。令和元年から6年間事業を進め、一定の成果は得られたが、今後は働き盛り世代への働きかけを強化し、超高齢化社会に向けた健康づくりを進めていく必要がある。			
	内容	【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】 ・地域住民自らが課題解決に向けた取り組みができるよう、関係機関・団体と課題を共有し、推進方法及び取組方法の検討・協議及び情報交換などを行い、地域一丸となって共通の媒体を用いながらキャンペーンを推進していく。 ・保健福祉事務所、各関係機関・団体等が、健診や集会・講座等様々な機会を捉えて、特に働き世代をターゲットに塩分チェックによる減塩の意識付けと、基本リーフレット等による減塩・野菜摂取増加の指導、普及を行うとともに、調理実習や試食会等による体験、給食だより、広報等による「地元の野菜と果物摂取、減塩」の実践を促すキャンペーンを実施する。 ・当所で登録を進める健康づくり応援弁当は、減塩・野菜摂取増加に向けた良いお手本であることから、そのメニューを日々の食事に活用できるように、内容を具体的にPRするチラシを作成し主に高齢者のグループにて配布する。若い世代、働き盛り世代を中心に電子媒体により周知、(R7年度新規登録店舗分 2店舗を想定)			
	事業期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	ひくシオたすベジ北信州キャンペーン事業	「ひくシオたすベジ北信州」の普及啓発を進め、実践を促すリーフレットを作成し、活用方法を紹介しながら配布し、地域全体への波及させる。	99,781	○印刷費99,781円 ・基本リーフレット92,235円 (@64.5円×1,300枚×1.1) ・健康づくり応援弁当チラシ7,546円 (@49.0円×140枚×1.1)	
	合計	99,781			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	減塩・野菜摂取増加の実践を促すためのリーフレットの配布数		100箇所	51箇所	○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成
	減塩と野菜摂取増加の実践を促すためのリーフレット等を活用した講座等の開催		30回	84回	
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会、会議等あらゆる機会を通して事業の推進について関係者に依頼した。 ・回収した塩分チェックシートの集計を行った。来年度の北信地域食育会議等で関係機関に報告していく予定。 ・特に健康課題の追い働き盛り世代に対する塩分チェックシートの実施について市町村、事業所、商工会議所、保険者等関係者で取り組んでいくことを提案し、合意を得た。関係機関・団体等の連携が強化され、今後の活動の広がりが期待できる。 ・前年度食育フォーラム事例の紹介により、他機関等の取組内容が別機関へも広がった。 				
今後の方向性	引き続き、働き盛り世代への働きかけの強化継続、高齢者のフレイル予防のための共食の場の活用、関係機関・団体等の拡充による普及啓発強化等を行っていく。				